

令和7年度 第1回長崎市地域コミュニティ推進審議会 会議録

開催日時 令和7年8月6日(水)18時30分～19時45分

開催場所 長崎市役所7階 会議室

報告事項

事務局より資料に基づき説明を行った。

- (1) 長崎市地域コミュニティ推進審議会について
- (2) みんなで、す～で！ながさき虹色プロジェクト【長崎市地域まちづくり計画】について
- (3) 第1期計画の検証

議題

事務局より資料に基づき説明を行った。

- (1) 第2期計画の骨子案について
(説明内容に関する質疑無し)

議題に係る審議

第1期計画の検証を踏まえ、第2期計画において必要な視点を整理して、骨子案を作成している。第2期計画の骨子案に関して、必要な視点の漏れがないか、わかりにくい文言等がないかについて各班で意見交換を行い、話し合った内容を全体で共有した。各班の意見等は次のとおり。

1班

【柱1 みんなで取り組む地域のまちづくり】 について

「(2) 様々な人や団体が参画し連携する」について

- ・「個人、地域団体、企業、市民活動団体など多様な主体」に、社会福祉施設に関する文言を追加するのはどうか。
- ・「地域団体」が何を表しているのかわかりづらい。

【柱2 未来へつなげる体制づくり】 について

「(2) 将来に向けた担い手づくりに取り組む」について

- ・学校との関係性や学校の立ち位置がわかりづらいので示したらどうか、示すことによって学校の負担が偏ってもいけない
- ・「担い手」について、社会福祉施設の人を活用する。

【その他】

- ・ 当事者意識の醸成が必要。
- ・ 自治会という枠にとらわれず、地コミ、地域の中で人材を発掘することも検討する。
- ・ 自治会に入るメリットの提示が必要。

2班

【柱1 みんなで取り組む地域のまちづくり】 について

「(4) 個性のある地域の魅力づくりに取り組む」について

- ・ 「地域資源」という言葉が分かりにくい。() 書きでもいいので例を書いた方がいい。例えば、地域に根ざした伝統行事・人についてなど。

【柱2 未来へつなげる体制づくり】 について

「(2) 将来に向けた担い手づくりに取り組む」について

- ・ 「地域のまちづくりの担い手となる人材の発掘、育成に取り組む」について、具体的に誰に何をするのか見えてこない。はっきり書いた方がいいのではないか。
- ・ 例えば、小・中・高・大までの学校関係者（先生・子ども・保護者）と明記したらどうか。（学生のうちから興味をもってもらい働きかけや、子どもが動けば親がついてくるため）

【その他】

- ・ 骨子案に詳しい部分まで記載しなくてもよいのではないか。計画の中に盛り込んでおけば十分ではないか。
- ・ 「柱1(1) 一人ひとりが地域に関心を持つ」に対する取り組みとして、小中高から子ども担当を出してもらい、会議に出席するなど、子供たちから意見を引き出す。（その案を大人たちが手伝う）

3班

【柱1 みんなで取り組む地域のまちづくり】 について

「(1) 一人ひとりが地域に関心を持つ」について

- ・ 高齢化で活動が難しい中、「ちょいとボラ会」の活動の一環で、全世帯に自治会長の連絡先を伝えている。

「(3) 暮らしやすいまちづくりに取り組む」について

- ・ 文中に「防災」があるのであれば、「防犯」の視点も必要ではないか。

【柱2 未来へつなげる体制づくり】 について

「(1) 地域の体制づくりを進める」について

- ・ DX・ICTを使った見守り→携帯で情報が取れるような方策が必要ではないか。
- ・ 担い手づくりについて、保護者会等の会議参加、まつり等での集い、マンション等自治会に入っていない方へのアプローチをしている。

【その他】

- ・ 地域活動を、小学校の授業の 1 つとして取り入れることができれば担い手の確保や広い世代への周知につながる。
- ・ 広い意味での「地域」の視点→これまで地域にいた方などを巻き込む。

質疑応答・追加意見等

「柱 1 (1) 一人ひとりが地域に関心を持つ」について

- ・ 「ゆるやかにつながっておく」という文言に関して、現状、つながりが少ない中で、骨子として「ゆるやかなつながり」を推進していくべきかどうかが気にかかった。

総括

会長より総括

- ・ 今回は 3 つのグループに分かれて、それぞれの立場、異なる視点からご意見をいただいたが、どのグループからも「学校」というキーワードが出ていた。自治会加入率が下がる中、子育て世代、次の担い手世代との情報共有の方法について考える必要がある。
- ・ 現在、学校では「探求学習」という、自分たちでテーマや課題を見つける学習を実施している。これを地域の中に入れ込み、発表会などに親御さんに来ていただくなどして、地域の重要性に気づいてもらう機会の創出が必要であると考えている。

(事務局)

- ・ 担い手づくりに取り組むという点に関して、各班より意見があったように、子ども・子育て世代等の若い世代へのアプローチは非常に重要であることから、骨子案の随所にその要素をちりばめている。本日の意見を可能な範囲で骨子案に反映させていきたいと思うが、骨子案への反映が難しい部分は、本編に反映させるなどして、盛り込んでいきたいと思う。
- ・ 今年度は審議会をあと 2 回開催する予定である。今回いただいた意見を活かして骨子案の内容について再度協議を実施していきたい。なお、10/29(金)に第 2 回審議会を開催予定としており、その際に計画の素案をお見せできればと思う。
- ・ また、今期の委員の皆様は 9/8(月)をもって任期満了となる。今後も地域コミュニティ及び地域福祉計画へのご理解とご協力をいただけるとありがたい。

議事終了後、事務局に進行が戻され、令和 7 年度第 1 回長崎市地域コミュニティ推進審議会を閉会した。